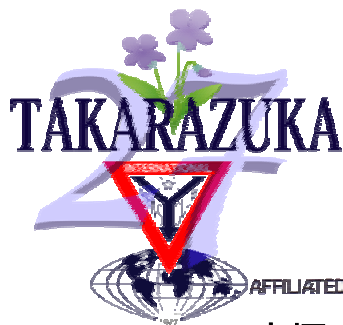




The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ

〒662-0977 西宮市神楽岡5-23

西宮YMCA内

☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22, 1968

宝塚ワイズメンズクラブ 2015年9月会報 第324号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) ウィン・ブーンパシオン (タイ)

主 題: "Mission with Faith"

「信念の有るミッション(使命・目的)」

アジア地域会長(AP) イトワート ケダブリー オンダ(シンガポール)

主 題: "Through Love Serve"

「愛を持って奉仕をしよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)

主 題: 「あなたならできる! きっとできる」

"You can do it! Yes, you can!"

標 語: 「-生きる しなやか さわやか-」

- Live flexibly and refreshingly -

六甲部長 進藤 啓介(神戸)

主 題: 「YMCAと共に」

《人を育み・地域に仕える》

宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子

主 題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ: メネット

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

(マタイ5章9節)

2015年9月第一例会

日 時: 2015年9月9日(水)18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員3,100円、会員外3,500円

ドライバー 福田 宏子 水谷 恭子

開会点鐘 鯖尻 佳子会長

ワイズソング 全 員

聖 書 桑田 勝弥

祈 祷 長尾 亘

ゲスト・ビジター紹介

ゲストスピーカー

腹話術 瀬口 恵里子さん

演目「愛ちゃんと空くんの健康クイズ」他

会 食

YMCA 報告

誕生日のお祝い

閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16

役 員

会 長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代
副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸
会 計 吉田 明、堀江裕一
会計監査 今田 稔
メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
六甲部メネット事業主査 福田 素子

事 業
委員長

YMCAサービス・ユース 福田 宏子
地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘
交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子
広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘

特別事業
委員長

NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇
バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸

お誕生日
おめでとう!

石田由美子(9月1日) 三品ミチ子(9月20日)
谷川 尚(9月22日) 加藤富美子(9月23日)
福田宏子(9月29日)

8
月
実
績

例会出席者数 44名
在籍会員数 21名
出席会員数 15名
出席率 71.4%
メイクアップ(内数) 1名
メネット 2名
コメント・マゴメット5名、ゲスト・ビジター22名

B Fポイント 8月 0円
累 計 6,100円
にこにこBOX 8月 8,300円
累 計 17,300円
ファンド(物品販売) 20,000円
累 計 28,600円

8 月第1例会報告

8 月 12 日 (水) 18 時 30 分から宝塚ホテルゴールドの間で 8 月納涼例会が行われました。出席はメン



14 名、メネット、コメント、ゲスト総勢 43 名の沢山の参加で楽しい納涼例会と成りました。毎年納涼例会はホテルの豪華な食事を楽し

みます。そして沢山のゲスト、近くからは、海外から、はんしん自立の家でボランティアしている 2 名、大阪 YMCA のスタッフ 2 名、近隣のワイズ、メネット 9 名、そして海外デンマーク Erling Birkabk ワイズが国際会議の後、山口であったボーイスカウトの国際ジャンボリーに参加され帰り道、例会に参加して頂き、デンマークのワイズの近況とボーイスカウト世界ジャンボリーの話のパワーポイントを使って頂き、納涼例会が盛り上がりしました。



長尾 亘

8 月第2例会報告

8 月 19 日 (水) 18 時 30 分から宝塚西公民館にて 8 月第 2 例会が行われた。出席者は、鯖尻会長、石田、多湖、長尾、堀江、加藤、吉田、若林、福田宏、青柳各メン計 10 名。議事要旨は次の通り。

1. 8 月ブリテン及び英文ブリテン作成の労を労い、ブリテン 9 月号の寄稿分担、製作日程等を確認した。

原稿締切 8/29、校正・印刷 8/30

2. 当面の会合への出席予定者を確認した。

8 月 22 日 (土) はんしん自立の家デーキャンプ

8 月 23 日 (日) 大阪西・大阪センテニアル合同例会

9 月 5 日 (土) 15 時～19 時 30 分 六甲部会

ホテル北野プラザ六甲荘

(注) 部会の前にメネット会が行われる。

3. 鯖尻会長の報告があり例会の運営方法を協議した。

① 9 月第 1 例会: ゲストスピーカーに瀬田恵里子氏を迎え、腹話術を披露して頂く。氏のご都合を考慮して、プログラム順を入れ替え食事前に演じていただく。

② 11 月例会の YMCA 井上総主事のゲスト来会に合わせて、先のユースコンボケーション参加者 (2 名) を招き体験談を聞く。人選は神戸 Y の担当窓口と相談。

③ 3 月第 1 例会ゲスト予定の藤松 薫氏 (元小林聖心女学院副校長) から承諾の回答があり、決定。

4. 六甲部メネット会の運営協力

福田素子メネット主査の依頼に基づき、多胡メンの先導で、9/5 開催の六甲部メネット会の運営協力について協議した。8/25 13 時開催の準備会 (西宮北口アクタ 6F 大学交流 Cr. にて) に出席して役割を分担することを申し合わせた。

5. 各委員会からの報告

① ジャがいも: 十勝クラブから販売案内を受信。入荷を 10/3 (土) 9 時、大林宅に決定。前年と同じく 10Kg ケースを 400 箱仕入れ、@2200 円で販売する。西宮 YMCA リーダーの援助を要請する。

② 市民クリスマス: 出演者の全てと合唱の練習日程を決定。合唱参加者を募集のため過年度出演者・協力教会宛に案内状を送付する。

6. 今田メンが体調をくずされ静養中、早い回復を祈る。

若林 成幸

会 長 報 告

まだまだ残暑厳しい毎日ですが、8月23日(日)に大阪西、大阪センテニアルクラブの合同納涼例会に宝塚クラブより多胡メン、石田メン、福田宏メン、若林メネットと私とで参加してきました。合同例会は二人の会長が進行を受け持ちそれだけで交流の輪が広がっているような感じです。ミャンマーからも6人の留学生が参加。とても和やかな雰囲気の中、西日本区大会の前夜祭の再現のようなフラダンスとバンドの演奏です。踊っているのは5人中4人が宝塚クラブのメンバー。私は前夜祭には出席出来なかったのが、美しく素敵なフラダンスに感動しました。前夜祭に出席された方は感激よ再びのような感じでした。踊られている方も見ている方も笑顔です。宝塚クラブも12月には三クラブ合同(大阪なかのしま、大阪セントラル、宝塚クラブ)のクリスマス例会を企画しています。素敵な交流の輪がますます広がるように今から準備していきたいと思います。皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。



月さまを見た人、初めて「花火」を見た人、初めて浴衣や甚平さんを揃えた人々もたくさんでした。この日も、入居者のおひとりは、朝から自分で甚平さんを引っ張り出し、夕方になるのが待てなくて、事務所で着替えが始まりました。皆さんの大きな大きな喜びです。今年、その喜びをもっと大きくして下さったのが、ハワイアンバンドとフラチームです。フラの教室の石田由美



子さんの呼びかけで集まって下さった方々の演奏とダンスはとてもすてきでした。とても豊かな時間でした。「花火」はFM宝塚のライブカメラの映像をプロジェクターでスクリーンに大写しにしました。かき氷や焼きそばを食べながら、そして特別出演の神戸女学院チアリーダーの演技にも、みんな最高の笑顔でした。

はんしん自立の家施設長 石田 英子

瀬戸内海のハワイ、山口県周防大島 サタデーフラ参加報告

鯖尻 佳子

はんしん自立の家の夏まつり

「はんしん自立の家」は今年30周年を迎えました。毎年、宝塚花火大会の日に屋上で「はんしん自立の家夏祭り」を行います。猛暑の続いた今年の「夏祭り」8月5日は、屋上は42度。重い障害の人たちには危険と判断し、冷房の入る2階ホールに移動しました。30年間ではじめてのことでした。30年前の1回目の夏祭りの日、「はんしん自立の家」で暮らし始めた人たちの中には、夜初めて外に出て「お

辻建先生がいらっしゃる山口県周防大島は明治の初めに官約移民、約4,000名をハワイ、カウアイ島へ送り出したと言う縁で50年以上も前から姉妹縁組を結んでいます。夏になると官公庁、JR、商店、ホテルなどでは古くからアロハシャツが制服です。



6年前から始まったサタデーフラは7月、8月の毎週土曜日に観光協会が主催する周防大島らしいフライイベントです。島内数か所の海岸や芝生の上で昼夜、全国から参加するフラグループのステージが見られ、

ハワイより数が多いのではないかと思います。

8 月 8 日、今年は長尾亘メン、共通の友人、そして私のフラの先生一家と言う小さな編成で大島のフラ・アンバサダーである「アロハ大島フラハーツ」と一緒に出演しました。習っている先生が違くと踊りも違いますがフラハーツと私達には一緒に踊れる曲が何曲かあります。

それは辻先生が引退後姪御さんご夫妻の側に引越され、107 年の歴史ある大島教会の隠退牧師として新たな生活を始められたところからご縁が来て、私達スタジオのワークショップにフラハーツが参加したり、私達がサタデーフラで訪問した時に新曲を指導したり、と言う交流が始まりました。

今回の合同出演では私達 2 つのグループをつなぐ大きな絆「フラ」を通しての想いが客席の方々に通じたのか最後に大きな拍手や声援を貰いました。

終わった後、大島教会での夕食会で盛り上がり、翌日は聖日礼拝に数名の教会員の方と一緒に出席し、礼拝後は辻先生お手製のランチを頂く、と言うのが恒例になっています。

ハワイと同じように人々が優しく、行く度に「私達は ohana (家族)」を感じるアロハの週末でした。

石田由美子

大阪土佐堀クラブ納涼例会報告

お盆の後の雨のおかげで猛暑も一息ついた 8 月 18 日の夕、大阪土佐堀クラブの納涼例会に出かけた。宝塚クラブからは鯖尻会長、堀江、長尾、青柳各メンと関学三田キャンパスのマハログループを率いる石田メンの 5 名の参加であった。会場では岩原義則会長、岡野泰和



直前アジア会長らに迎えられ何処に行っても感じるワイズの楽しくて温かい空気に包まれホッとした。食事の後のハワイアンフ



ラナイトはブルーのスカートに花輪を頭に載せた関学三田キャンパス、マハログループのフラダンスで始まった。その若さと可憐さに目を奪われ、石田メンのソロにはその優しさと美しさに心を奪われた。出席の遠藤通寛理事、大阪土佐堀クラブの奥田時夫中西部部長も交え皆も輪の中に入り「月の夜は」と石田メンに見習って踊り、一瞬ハワイの浜辺にいたような幸せな気持ちになった。続いて浴衣姿のメネットの皆さんと河内音頭も踊り、フラとのコラボの夜を楽しんだ。

青柳 美知子

【今月のみ言葉】

平和を実現する人々の幸いについて語るこの言葉は、心の状態や姿勢よりも主体的な行動を問題にしている点で、ここまでの幸いの言葉とは少し性格を異にしています。

「平和」という言葉は、穏やかで和らいでいる状態を意味し、しばしば、「戦争」の対語として用いられますが、決して「戦争」の反対語ではありません。事実、現実には戦争が行われていなくても、貧困や人権侵害、環境破壊が蔓延しているような国は平和な国とは言えません。そしてまた、この「平和」という言葉には、何か抗しがたい響きがあるようで、不思議なことに、戦争を肯定する人も否定する人も「平和」を強調し、誰も表立ってこれを否定しないのです。

いずれにしても、ここで幸いと言われているのは、単に人との争いを避けようとする消極的な平和主義者ではなく、自分たちから積極的に働きかけて平和を造り出そうとする人たちです。もっとも、私た

ち人間の努力によって、この世界の平和を実現しなさいと言われているのではありません。人類の歴史を振り返っても明らかなように、そんなことは不可能です。その意味でも、私たちに求められているのは、それぞれが身近な人との間に平和を造り出す努力を続けつつ、神による真の平和の実現を信じて歩むことなのであり、そのためにも、それぞれがまず神との間に和解(平和)を実現する必要がありますのです。そして、まさにそのときにこそ、私たちは「神の子」となりえるのでしょう。

嶺重 淑

YMCA だより



1. 神戸YMCA新会館起工式

8月の例会でもお伝えいたしましたが、神戸YMCAの本館について9月30日に起工式を行う運びとなりました。130年近い歴史をもつ神戸YMCAの第5期本館となる建物ですが、多くの方の知恵と思いの結集した建物となっており、引き継がれるものを大切にしながら新しい歩みへの拠点としたいと祈りをあわせる予定です。なお、建築完成予定は次年度秋になる予定です。また新会館の呼称など使い方にあわせて多くの会員に親しんでもらえるよう準備をすすめています。

2. この夏のプログラム

今年 は7月中旬こそ近辺での台風による被害もありましたが、以降は夏の終わりまで天候に恵まれて、各ランチや余島では多くの子どもを迎えてのキャンプを行うことができました。特に報告することは2つ。ひとつは、この夏も余島では、福島の小中学生を迎えてI'm partner(保養)Campを行いました。大地震から4年、日常でのさまざまな問題が風化されることや顕在化していることがあります。こうした諸問題 に対しさまざまな意識を持つ高校生や各地の学生、組織がこのキャンプの支え手、担い手となっ

て運営できたことは大切に覚えておく事柄だと感じています。もうひとつは、今年は終戦70年目の節目となる年ですが、余島キャンプは戦後の歩みの中で「民主主義を子どもたちに伝える」ことを願った故今井鎮雄が、その目的に適った場所を捜し歩いて1950年よりキャンプ場として始まったものです。多様な人びとの出会い、分かち合いの経験が明日の指導者を作ってきました。私たちYMCAはこの歩みを止めることなく、キャンプや日常の活動を行っていくことの大切さを改めて感じなくてはいいないと振り返る節目ともなりました。

第11回市民クリスマスキャロルを歌う夕べ

2015年12月10日(木)

午後7時 ベガホール

プ ロ グ ラ ム

開演前 ロビーコンサート 宝塚厚生幼稚園の園児

第1部 朗読と音楽で綴るクリスマス物語

朗読：カトリック宝塚教会 カレンガ・カペンデ神父

オルガン：崎本晴子 ピアノ：中川史子

独唱：北村多恵

ベル：ベル・コンチェルト(さんだワイズ有志)

合奏：アンサンブル・ダカーボ

合唱：地域の教会聖歌隊・合唱愛好家有志による合唱団、

曲目：ほめたたえよ、力強き主を(讃美歌より)

アレルヤ(モーツァルト作曲)

ひいらぎとつたは(イギリス・キャロル)

世界に告げよ(アメリカ民謡)

讃美歌メドレー キャロルの花束(聴衆参加)

第2部 みんなでキャロルを歌おう

フラダンス：関学三田キャンパス フラチームほか

「しあわせを運べるように」

メロディートン合奏：ポップン・リンガーズ

女声合唱 KC クローバー(初参加)

ハレルヤ・コーラス(聴衆参加)